

(16) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書

法人の概要

- | | | |
|---|---------|--|
| 1 | 名 称 | 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社 |
| 2 | 目 的 | 天神川流域下水道の維持管理に関する業務を行うとともに、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究等を行い、県及び流域関連市町が実施する下水道事業に協力し、もって地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。 |
| 3 | 公益認定年月日 | 平成24年3月19日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立許可年月日
昭和57年8月1日) |
| 4 | 設立登記年月日 | 平成24年4月1日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立登記年月日
昭和57年8月7日) |
| 5 | 基本財産 | 出えん金 3,000,000円
鳥取県出えん金 1,500,000円
倉吉市出えん金 500,000円
湯梨浜町出えん金 500,000円
三朝町出えん金 250,000円
北栄町出えん金 250,000円 |
| 6 | 役員等 | 評議員 5人 理事 7人 監事 2人
評議員 青木 由紀子 (湯梨浜町商工会女性部長)
〃 佐々木 敬宗 (倉吉商工会議所専務理事)
〃 石田 耕太郎 (倉吉市長)
〃 羽根田 真弓 (学校法人藤田学院鳥取短期大学教授)
〃 遠藤 淳 (鳥取県生活環境部くらしの安心局長)
理事長 吉川 寿明
常務理事 吉川 寿明 (理事長兼務)
理事 宮脇 正道 (湯梨浜町長) |

理 事 松 浦 弘 幸 (三朝町長)

〃 松 本 昭 夫 (北栄町長)

〃 中 江 亜 紀 子 (有限会社中江組代表取締役)

〃 山 崎 昌 徳 (倉吉市副市長)

〃 谷 口 正 一 (鳥取県生活環境部くらしの安心局水環
境保全課長)

監 事 木 天 昌 明 (税理士)

〃 植 原 徳 彦 (行政書士)

7 職 員 7人

8 事 務 所 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬1517番地

令和2年度事業実施状況

天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和元年度～令和5年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理を適正かつ効率的に行い、良好で安定的な下水処理の確保を図るとともに、設備機器類等の下水道施設の適切な維持管理を行うことで、持続的な下水道機能の確保に取り組んだ。

また、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を実施するとともに、中期経営計画に基づき継続的な業務改善と効果的・効率的な管理運営の推進並びに一層の経費の縮減に取り組んだ。

令和2年度決算額は、436,094千円であり、着水井ゲート設備修繕工事など予防保全的修繕を充実するとともに、効率的な管理運営を行い経費の縮減に取り組んだことにより、対前年度比7%の減少となった。

この結果、令和2年度の指定管理料は、県との協定額に比べて62,107千円の減額となった。

1 天神川流域下水道の管理運營業務

(1) 天神浄化センターの運転管理、水質管理業務等

天神浄化センターの流入汚水に対して、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理を適正かつ効率的に行い、常に良好な状況を保持し下水道機能の確保を図るとともに、年間を通じて良好で安定的な下水処理を実施することができた。脱水汚泥は全量処分委託により堆肥化及び燃料化して有効活用を図った。

流入汚水量は年間7,284千 m^3 （日量19,957 m^3 ）で前年度比1.2%の増加となり、脱水汚泥は年間4,753トで4.9%の減少、使用電力量は4,712千kwhで5.3%の減少とすることができた。

また、汚水処理原価（指定管理料÷年間流入汚水量）は、59.9円/ m^3 となった。

[水処理及び汚泥処理の状況]

①流入汚水量

年間計画流入水量7,101,075 m^3 （日平均19,455 m^3 ）に対し、実績は次のとおりであった。

日平均	19,957 m^3
年間合計	7,284,405 m^3

②水処理の状況

放流水の水質基準を十分に達成。

項目	流入下水	放流水	放流水の水質基準 (下水道法)	水質 除去率
BOD (mg/l)	120	3.6	15	97%
浮遊物質(SS) (mg/l)	88	1.0	40	99%

※ BOD=生物化学的酸素要求量

(2) 施設の維持管理業務

天神浄化センターの日々の運転操作・監視及び保守点検を外部委託で実施するとともに、設備機器類の定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして水中エアレータ、高圧真空遮断器、ケーキ貯留サイロの計画的な分解整備（オーバーホール）や着水井ゲート設備修繕工事、沈砂池4号サンドポンプ他修繕工事等の予防保全的修繕を実施し、故障・事故の未然防止と低減及び施設の機能保全に取り組んだ。

また、若土ポンプ場施設や市町処理分区の流量計測設備（23箇所）等の維持管理、幹線管路施設の巡回点検等を実施した。

2 下水道の水質分析等

令和2年度水質試験計画により、天神浄化センターへ流入する汚水、放流水、市町処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の分析を公社が直営で実施し、ダイレクトに現場へ反映させることにより、適正かつ効率的な運転管理に取り組んだ。

水質試験回数	414回
検体数	21,244検体

3 下水道技術者の養成

公社職員の資質及び技術の向上を図るため、技術研修会、講習会等に参加した。

4 下水道技術の調査研究

「天神浄化センターの主ポンプ能力を超えた場合について」及び「反応タンク嫌気槽の水の中攪拌機の運転方法の変更による省エネ効果について」の調査研究に取り組んだ。また、毎月1回水処理・汚泥処理等検討会として、適切かつ効率的な管理運営、業務改善等の調査研究を実施した。

5 下水道知識の普及及び啓発等

(1) ホームページでの公社の財務状況、水処理状況、催しの案内等を随時掲載した。

(2) 下水道についての理解と普及促進を図るための取組

ア ぐるり水の探険

毎年、中部地区の小学生親子を対象に、東郷ダム、倉吉市水道局円谷町水源池、天神浄化センターの施設見学、水質検査の体験等を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止した。

イ 第32回下水道コンクール

中部地区の小学校4年生の児童を対象に下水道に関する絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集した。審査会を実施して、優秀作品には表彰状を授与した。

入賞作品：絵画・ポスター3点、習字12点、標語9点

応募作品数：令和元年度より24%の減少

	絵画・ポスター	習字	標語	計
令和2年度作品数	11	567	85	663
令和元年度作品数	139	577	160	876

開催日：審査会9月13日、表彰式（各小学校で伝達）、

展示会10月4日～6日（倉吉未来中心）

ウ 下水道ふれあい教室

小学校に職員が出向き、環境教育の一環として下水道の仕組み、微生物の説明、顕微鏡観察、水質検査等の授業を6月に3校において実施した。

実施校：小鴨小学校、成徳小学校、河北小学校

エ 施設見学者への対応

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、小学生の見学者が昨年より減少した。昨年に引き続き、地域住民の方へ下水道について理解を深めていただくための見学会を企画し、湯梨浜町内の住民の見学者があった。

天神浄化センターへの見学者数は、次のとおり。

年度	総 数	内 訳		
		一 般	学校関係	官公庁職員
令和2年度	251人	19人	222人	10人
令和元年度	506人	34人	472人	0人

6 中期経営計画の取組

中期経営計画（平成29年度～令和2年度）に基づき、適正かつ効果的な下水処理施設の維持管理を行うとともに、継続的な業務内容の点検・見直し及び管理運営の一層の効率化の推進に取り組んだ。

(1) 水処理・汚泥処理等検討会の開催と継続的な業務改善

毎月1回のペースで水処理・汚泥処理等検討会を開催し、業務の充実・改善と適切かつ効率的な管理運営の調査検討に取り組んだ。

- ・天神浄化センターの省エネの現状と課題について
- ・中期経営計画の進行管理（モニタリング）について
- ・中期経営計画2021（令和3年度～令和6年度）（案）について
- ・令和2年度の取組結果と課題等について 等

(2) 管理運営の効率化

放流水質の維持並びに施設の機能・性能の確保との両立を前提として、現場主義で管理運営の一層の効率化に取り組んだ。

ア 業務体制の見直し

- ・職員数の1名減（再雇用の電気技師）

イ エネルギー管理の徹底

- ・電力使用量の削減

反応タンク嫌気槽の水中攪拌機の間欠運転（令和2年11月～）、前ばっ気槽の設定風量の半減見直し（令和2年12月～）、返送汚泥ポンプの異径プーリーへの交換（令和3年3月～）、デマンド管理等

（▲5.3%）

ウ 脱水汚泥の発生、処理量の削減

- ・脱水汚泥移送ポンプの更新運用（令和2年10月26日～）に伴い、脱水汚泥含水率の一層の低減が可能になったことによる脱水汚泥量の抑制

（▲4.9%）

エ ポンプ井攪拌機の設備保全方法の見直し

- ・故障や性能低下時には、他機による機能補完ができるため事後保全に見直し

7 その他

(1) 異常流入水

令和2年度は、大雨、降雪による異常流入水の発生があったが、安定的に通常処理を行うことができた。

順位	発 生 日	分区流入水量 (m ³)		累計雨量 (倉吉)	摘 要
		日最大	時間最大		
1	R2.4.13	28,838	1,463	81.5	
2	R2.6.14	27,504	1,441	75.0	
3	R2.12.19	27,176	1,507	57.0	

*主ポンプ揚水能力：3,990m³/時間

- (2) 全国下水道公社連絡協議会、中国四国下水道公社連絡協議会
新型コロナウイルス感染症拡大のため、いずれも開催は中止となった。
- (3) 人権教育の研修会
次のとおり公社で開催した。
・職場内人権研修会 3月31日
- (4) 防災訓練等
消防計画に基づき、火災訓練のほか、総合訓練として地震、その他の災害を想定した訓練を実施した。
○消防訓練 6月17日
○総合訓練 10月30日（大雨による異常流入水を想定した訓練）
- (5) 維持管理年報の作成
令和元年度維持管理年報を令和2年8月に作成した。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策
新型コロナウイルス感染症に対する対策マニュアルを作成し、令和3年3月に鳥取県新型コロナウイルス対策認証事業所の適合認証を受けた。

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
正味財産増減計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	300	300	0	
基本財産受取利息	300	300	0	
事業収益	436,093,597	468,522,429	△ 32,428,832	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	436,093,597	468,522,429	△ 32,428,832	
雑収益	133	367	△ 234	
受取利息	133	197	△ 64	
雑収益	0	170	△ 170	
経常収益計	436,094,030	468,523,096	△ 32,429,066	
(2) 経常費用				
事業費	421,220,639	453,896,289	△ 32,675,650	
役員報酬	3,917,932	3,917,932	0	
給料手当	28,029,725	31,008,459	△ 2,978,734	
退職給付掛金	1,692,000	1,692,000	0	
福利厚生費	5,302,717	5,826,304	△ 523,587	
会議費	0	7,380	△ 7,380	
旅費交通費	143,280	235,710	△ 92,430	
通信運搬費	352,662	348,953	3,709	
消耗品費	16,882,424	14,819,073	2,063,351	
修繕費	73,309,289	106,102,596	△ 32,793,307	
印刷製本費	382,800	272,946	109,854	
燃料費	773,988	758,760	15,228	
光熱水料費	66,982,933	74,250,340	△ 7,267,407	
賃借料	622,592	665,006	△ 42,414	
保険料	74,090	56,331	17,759	
手数料	115,270	175,165	△ 59,895	
租税公課	4,739,715	4,610,208	129,507	
委託費	217,789,922	209,101,475	8,688,447	
負担金	109,300	47,651	61,649	
管理費	14,663,379	14,767,600	△ 104,221	
役員報酬	979,858	979,858	0	
給料手当	7,058,496	7,015,945	42,551	
退職給付掛金	468,000	468,000	0	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
福利厚生費	1,312,464	1,326,648	△ 14,184	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	22,680	207,795	△ 185,115	
通信運搬費	259,903	258,783	1,120	
消耗品費	719,870	710,605	9,265	
修繕費	86,222	122,701	△ 36,479	
印刷製本費	60,225	88,020	△ 27,795	
燃料費	194,904	173,988	20,916	
光熱水料費	583,540	641,979	△ 58,439	
賃借料	336,898	347,740	△ 10,842	
保険料	60,040	60,850	△ 810	
諸謝金	211,600	272,200	△ 60,600	
手数料	127,469	124,476	2,993	
租税公課	286,985	268,692	18,293	
委託費	1,643,400	1,497,660	145,740	
負担金	250,825	201,660	49,165	
経常費用計	435,884,018	468,663,889	△ 32,779,871	
当期経常増減額	210,012	△ 140,793	350,805	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	210,012	△ 140,793	350,805	
一般正味財産期首残高	1,145,943	1,286,736	△ 140,793	
一般正味財産期末残高	1,355,955	1,145,943	210,012	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	4,355,955	4,145,943	210,012	

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
正味財産増減計算書内訳表

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	300			300
基本財産受取利息	300			300
事業収益	421,435,722	14,657,875		436,093,597
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	421,435,722	14,657,875		436,093,597
雑収益	133			133
受取利息	133			133
雑収益	0			0
経常収益計	421,436,155	14,657,875	0	436,094,030
(2) 経常費用				
事業費	421,220,639			421,220,639
役員報酬	3,917,932			3,917,932
給料手当	28,029,725			28,029,725
退職給付掛金	1,692,000			1,692,000
福利厚生費	5,302,717			5,302,717
会議費	0			0
旅費交通費	143,280			143,280
通信運搬費	352,662			352,662
消耗品費	16,882,424			16,882,424
修繕費	73,309,289			73,309,289
印刷製本費	382,800			382,800
燃料費	773,988			773,988
光熱水料費	66,982,933			66,982,933
賃借料	622,592			622,592
保険料	74,090			74,090
手数料	115,270			115,270
租税公課	4,739,715			4,739,715
委託費	217,789,922			217,789,922
負担金	109,300			109,300
管理費		14,663,379		14,663,379
役員報酬		979,858		979,858
給料手当		7,058,496		7,058,496
退職給付掛金		468,000		468,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
福利厚生費		1,312,464		1,312,464
会議費		0		0
旅費交通費		22,680		22,680
通信運搬費		259,903		259,903
消耗品費		719,870		719,870
修繕費		86,222		86,222
印刷製本費		60,225		60,225
燃料費		194,904		194,904
光熱水料費		583,540		583,540
賃借料		336,898		336,898
保険料		60,040		60,040
諸謝金		211,600		211,600
手数料		127,469		127,469
租税公課		286,985		286,985
委託費		1,643,400		1,643,400
負担金		250,825		250,825
経常費用計	421,220,639	14,663,379	0	435,884,018
当期経常増減額	215,516	△ 5,504	0	210,012
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	215,516	△ 5,504	0	210,012
一般正味財産期首残高	1,115,131	30,812	0	1,145,943
一般正味財産期末残高	1,330,647	25,308	0	1,355,955
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	4,330,647	25,308	0	4,355,955

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	28,872,916	33,117,269	△ 4,244,353
未収金	35,291	29,950	5,341
貯蔵品	1,355,955	1,145,943	210,012
流動資産合計	30,264,162	34,293,162	△ 4,029,000
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	33,264,162	37,293,162	△ 4,029,000
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	147,084	212,664	△ 65,580
仮受金	0	0	0
未払金	28,761,123	32,934,555	△ 4,173,432
流動負債合計	28,908,207	33,147,219	△ 4,239,012
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	28,908,207	33,147,219	△ 4,239,012
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2 一般正味財産	1,355,955	1,145,943	210,012
正味財産合計	4,355,955	4,145,943	210,012
負債及び正味財産合計	33,264,162	37,293,162	△ 4,029,000

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事業又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1)平成20年公益法人会計基準(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府 公益認定等委員会)を適用している。

(2)棚卸資産(貯蔵品)について

棚卸資産の評価基準は取得原価基準とし、評価方法は最終仕入原価法を採用している。

(3)消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	—
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	0

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の所得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

12. 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

13. 関連当事者との取引の内容

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

(単位:円)

品名	当期末残高
業務用薬品	583,308
材料	29,189
自家用発電設備燃料	718,150
切手、収入印紙	25,308
合計	1,355,955

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
財 産 目 録

(令和3年3月31日現在)

貸借対象表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			円
現金預金	普通預金 山陰合同銀行 羽合支店	運転資金として	28,872,916
未収金	鳥取県労働基準協会 中部支部	労働保険料過払額	35,291
貯蔵品	業務用薬品（高分子凝集剤、 次亜塩素酸ソーダ、苛性ソーダ他）	運転管理等に伴う年度末の在庫として	583,308
	材料（ろ過砂）	砂ろ過設備の材料として	29,189
	A重油	自家用発電設備燃料として	718,150
	切手、収入印紙	郵送、契約書用として	25,308
流動資産合計			30,264,162
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	定期預金 山陰合同銀行羽合支店	公益目的保有財産で運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
その他固定資産			0
固定資産合計			3,000,000
資産合計			33,264,162
(流動負債)			
未払金	鳥取県に対する未払額他	鳥取県に対する指定管理料返納金未払他	28,761,123
預り金	源泉徴収所得税他	源泉所得税、住民税預り金	147,084
流動負債合計			28,908,207
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			28,908,207
正味財産			4,355,955

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載のとおりである。

令和3年度事業計画

I 基本方針

当社は、天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和元年度～5年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理、設備管理、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を適切に遂行するとともに、継続的な業務改善と更なる事業経営の効率化に取り組むことにより、下水道事業を取り巻く社会情勢の変化や地域のニーズ等に対応できる公益法人を目指していく。

現指定管理期間の3年目となる令和3年度は、次の管理運営の方針に基づくとともに、引き続き中期経営計画の推進により、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理、水質管理と施設の維持管理をより適切かつ効率的に遂行する。

【管理運営方針】

- (1) 良好かつ効果的な下水処理を確保すること
- (2) 適切な維持管理による持続的な下水道機能を確保すること
- (3) 継続的な業務改善と管理運営の効率化を進めること
- (4) 下水道技術の普及及び啓発等の充実に努めること
- (5) 下水道技術の継承と技術力向上を図ること
- (6) 連携協力と信頼性を確保すること

II 事業内容

1. 天神川流域下水道の管理運營業務【452,132千円】

(1) 天神浄化センター運転管理、水質管理等業務

- 天神浄化センターの水処理施設、汚泥処理施設の運転管理、水質管理を効率的かつ継続的に実施し、常に良好で安定した水質の確保及び汚泥処理の最適化と有効活用を推進する。
- 流入汚水の量的質的变化や水質試験結果等をダイレクトに反映させながら、水処理悪化等に対する迅速な対応と放流水質管理目標の確保とともに、下水道機能の維持を図る。
- 日々の運転操作・監視及び保守点検等は外部委託で実施しており、相互連携の下で天神浄化センターの適切な運転管理及び水質管理に取り組む。

・計画流入汚水量

令和3年度	令和2年度実績
7,161,809m ³ (日平均 19,621m ³)	7,284,405m ³ (日平均 19,957m ³)

・放流水質管理目標（年間最大値）

BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	大腸菌群数 (個/cm ³)
10 未満	10 未満	30 未満

・計画汚泥処理量

令和3年度	令和2年度実績
4,900t	4,752.7t

(2) 施設の維持管理業務

- 設備機器類に精通した専門技術者の蓄積されたノウハウ等を活かし、定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして計画的な分解整備（オーバーホール）等による予防保全的修繕を実施し、故障・事故の未然防止と低減及び施設の機能保全を図る。
- エネルギー管理の徹底、脱水汚泥発生・処理量の削減、部品交換・修繕工事等の合理化・効率化など継続的な業務改善と維持管理の効率化に取り組む。

・維持管理施設

対象施設	<ul style="list-style-type: none">・天神浄化センター（処理能力 32,000m³/日）・幹線管渠（28.6 km）及び放流管渠・処理分区流量計測設備（23 箇所）・若土ポンプ場
------	---

・予防保全的修繕【63,199 千円】

①主要機器類の分解整備

3号主ポンプ、ベルト型ろ過濃縮機

②臨時的修繕

沈砂池流入ゲート、返送汚泥ポンプ、汚泥サービスタンク天井、脱離液配管、遮断器

・事後対応修繕【25,798 千円】

流量計測設備、塩素混和池、修繕費枠予算

2. 下水道の水質分析等【2,000 千円】

○処理場へ流入する汚水、放流水、各処理分区接続点の汚水及び汚泥等の水質管理を行い、ダイレクトに現場での維持管理へ反映させることで、良好で安定した水質の確保を図る。

3. 下水道技術者の養成【431 千円】

○下水道事業に係る職員の技術研修会を鳥取県及び下水道事業団等と連携して実施する。
○下水道に関する知識、技術の習得、向上を図るため、各種団体が実施する研修会等への積極的な参加等により職員のスキルアップと現場実務への反映を図る。

4. 下水道技術の調査研究【165 千円】

○下水道維持管理コストの縮減、水処理、汚泥処理技術等の改善策、他の処理場の維持管理状況などについて、調査研究を実施する。
○8月に開催される下水道技術発表会（日本下水道協会主催）に参加するなど、下水道技術の情報収集を実施する。

5. 下水道知識の普及及び啓発等【485 千円】

○小学生、周辺住民、一般見学者等に対して、下水道の役割、効果、下水処理場の仕組み等の説明と施設見学を実施する。
○ホームページに下水道に関する情報を掲載して、啓発を実施する。
○水の循環をテーマとし、下水道が環境に果たす役割の理解を深めることを目的として、ダム、水道水源地、天神浄化センターを見学する「ぐるり水の探検」を開催する。
○「下水道コンクール」として、中部地区の小学校4年生の児童を対象に、絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集し、審査会を経て優秀作品を表彰する。
○「下水道ふれあい教室」として、職員が小学校へ出向いて、環境教育の一環として下水道の仕組み、水質検査等の授業を実施する。

6. その他公社の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
収 支 予 算 書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
事業収益	471,192	473,251	△ 2,059	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	471,192	473,251	△ 2,059	
雑収益	3	3	0	
受取利息	3	3	0	
経常収益計	471,196	473,255	△ 2,059	
(2) 経常費用				
事業費	455,237	457,574	△ 2,337	
役員報酬	4,129	3,918	211	
給料手当	29,194	32,268	△ 3,074	
退職給付掛金	1,692	1,692	0	
福利厚生費	5,555	6,038	△ 483	
会議費	10	10	0	
旅費交通費	378	272	106	
通信運搬費	357	357	0	
消耗品費	20,106	17,386	2,720	
修繕費	89,012	87,523	1,489	
印刷製本費	345	546	△ 201	
燃料費	1,120	1,120	0	
光熱水料費	80,444	82,274	△ 1,830	
賃借料	979	979	0	
保険料	73	99	△ 26	
手数料	129	119	10	
租税公課	5,025	5,032	△ 7	
委託費	216,471	217,793	△ 1,322	
負担金	218	148	70	
管理費	15,959	15,681	278	
役員報酬	1,032	980	52	
給料手当	7,427	7,245	182	
退職給付掛金	468	468	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
福利厚生費	1,415	1,365	50	
会議費	10	10	0	
旅費交通費	384	260	124	
通信運搬費	309	309	0	
消耗品費	835	749	86	
修繕費	85	87	△ 2	
印刷製本費	111	103	8	
燃料費	192	206	△ 14	
光熱水料費	698	729	△ 31	
賃借料	392	392	0	
保険料	64	64	0	
諸謝金	313	313	0	
手数料	156	157	△ 1	
租税公課	323	347	△ 24	
委託費	1,512	1,644	△ 132	
負担金	233	253	△ 20	
経常費用計	471,196	473,255	△ 2,059	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	1,000	1,100	△ 100	貯蔵品期首残高
一般正味財産期末残高	1,000	1,100	△ 100	貯蔵品期末残高
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0	
III 正味財産期末残高	4,000	4,100	△ 100	

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
収支予算書内訳表

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1			1
基本財産受取利息	1			1
事業収益	455,233	15,959		471,192
天神川流域下水道維	455,233	15,959		471,192
持管理受託事業収益				
雑収益	3			3
受取利息	3			3
経常収益計	455,237	15,959	0	471,196
(2) 経常費用				
事業費	455,237			455,237
役員報酬	4,129			4,129
給料手当	29,194			29,194
退職給付掛金	1,692			1,692
福利厚生費	5,555			5,555
会議費	10			10
旅費交通費	378			378
通信運搬費	357			357
消耗品費	20,106			20,106
修繕費	89,012			89,012
印刷製本費	345			345
燃料費	1,120			1,120
光熱水料費	80,444			80,444
賃借料	979			979
保険料	73			73
手数料	129			129
租税公課	5,025			5,025
委託費	216,471			216,471
負担金	218			218
管理費		15,959		15,959
役員報酬		1,032		1,032
給料手当		7,427		7,427

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
退職給付掛金		468		468
福利厚生費		1,415		1,415
会議費		10		10
旅費交通費		384		384
通信運搬費		309		309
消耗品費		835		835
修繕費		85		85
印刷製本費		111		111
燃料費		192		192
光熱水料費		698		698
賃借料		392		392
保険料		64		64
諸謝金		313		313
手数料		156		156
租税公課		323		323
委託費		1,512		1,512
負担金		233		233
経常費用計	455,237	15,959	0	471,196
当期経常増減額	0	0	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額				0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	970	30	0	1,000
一般正味財産期末残高	970	30	0	1,000
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000	0	3,000
指定正味財産期末残高	0	3,000	0	3,000
III 正味財産期末残高	970	3,030	0	4,000